

偏微分方程式姫路研究集会のお知らせ

「偏微分方程式姫路研究集会」を下記の日程、会場にて行います。
また、2月21日（水）18:00より懇親会を行います。
多数の方々の参加をお待ちしております。

記

日時: 2018年2月21日（水）10:30から2月22日（木）15:55まで

会場: イーグレ姫路4階会議室1,2

会場へのアクセス: JR 姫路駅より北へ徒歩15分、姫路城手前

<http://www.math.ritsume.ac.jp/takuwatanabe/CHPDE/access.html>

プログラム

2月21日（水）

10:30 – 11:20 島倉 紀夫 （東北大学名誉教授）

単体の上の双直交多項式

11:35 – 12:25 NICOLEAU, François （Université de Nantes）

On the anisotropic Calderón problem with data on disjoint sets

14:00 – 14:50 CUENIN, Jean-Claude （Universität München）

Embedded eigenvalues of generalized Schrödinger operators

15:05 – 15:35 吉田 尚矢 （立命館大学）

Eigenvalue distribution for the 2-dim Schrödinger operator with strong magnetic field

16:05 – 16:35 古屋 貴士 （名古屋大学）

An application of the factorization method for some inverse acoustic scattering problems

16:50 – 17:40 杉本 充 （名古屋大学）

Optimal estimates of Kato–Yajima type with angular smoothing

2月22日(木)

10:30 – 11:20 SCHMIDT, Karl Michael (Cardiff University)
On the spectral density of Dirac operators with divergent potentials

11:35 – 12:25 加藤 圭一 (東京理科大学)
Wave packet transform and its application to Schrödinger equations

14:00 – 14:50 千原 浩之 (琉球大学)
Geometric analysis of dispersive flows

15:05 – 15:55 野村 祐司 (兵庫県立大学)
Lifshitz tail for Schrödinger operators with random Aharonov-Bohm magnetic fields

この研究集会は以下の研究費からの援助を受けております.

科学研究費基盤研究 (S) (研究代表者: 山本昌宏)
「偏微分方程式の係数決定逆問題の革新的解決と応用」

科学研究費基盤研究 (B) (研究代表者: 磯崎洋)
「スペクトル逆散乱理論の新モデル - 離散から連続まで」

科学研究費基盤研究 (C) (研究代表者: 榎田登美男)
「相対論的作用素のスペクトル理論と固有値問題」

科学研究費基盤研究 (C) (研究代表者: 藤家雪朗)
「シュレディンガー方程式の準古典解析」

科学研究費若手研究 (B) (研究代表者: 永安聖)
「介在物同定の逆問題に対する安定性評価の解析」

科学研究費若手研究 (B) (研究代表者: 渡部拓也)
「エネルギー交差に付随するスペクトル・散乱の準古典解析」

名古屋大学国際若手招聘研究ユニット (研究代表者: RICHARD, Serge)
「Topological invariants through scattering theory and noncommutative geometry」

社団法人姫路観光コンベンションビューロー補助金

姫路市文化行事支援 (後援)

組織委員: 藤家雪朗 保城寿彦 磯崎洋 岩崎千里 永安聖 野村祐司 RICHARD, Serge
榎田登美男 渡部拓也

連絡先: 〒 525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1
立命館大学びわこ・くさつキャンパス

電話: 077-561-4952 (藤家雪朗)

E-mail: fujiie (at) fc.ritsumei.ac.jp